

大宜味村津波「酪農教育ファーム」

交流
部門

心を育むふるさとづくり (平成16年度認定)



「長寿の里」「芭蕉布の里」「シークワサーの里」「ぶながやの里」をキーワードとした大宜味村。津波地区は、本島北部へ向かう村の入り口に位置している。国道から山道を登っていくと、のどかな、牧場風景が目に入ってくる。

自然や農から得たすばらしい感動や体験を子どもたちの教育に還元したいという思いから、酪農を基本とした農業体験を始めた。ヨーロッパの教育ファームについて学び、一環した農業体系を子ども達が体験することで生きる力を得てほしいとの思いで、体験プログラムの企画と牧場の整備にとりかかり、平成11年から本格的に活動を開始した。

当初は、夫婦ではじめた酪農教育ファームも、地域や県外の学生たちも参加しての活動となり、昨年、新たに内容の見直しも行い、さらに農業経営、グリーン・ツーリズム（酪農教育ファーム）への普及にも努めている。

そのほか、牧場まつりの開催や、地域学校の総合学習のボランティア受け入れ、琉球カルタによる沖縄文化の普及、北部地区におけるグリーン・ツーリズム研究会を発足にむけて活動するなど、地域との連携によるグリーン・ツーリズムを展開している。

